

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：小山町 未来拠点課
担当課長名：遠藤 正樹

事業名	スマートICアクセス補助 町道2414号線	事業 区分	市町村道	事業 主体	静岡県小山町
起終点	自：静岡県駿東郡小山町字桑木 至：静岡県駿東郡小山町字桑木			延長	2.0 km
事業概要					
町道2414号線は東名高速道路足柄S.A.上下線に設置予定の足柄スマートICへの主アクセス道路である。当該道路の整備は、町内外からの物流や交流に対応した交通網の確立と、救命活動の迅速化や防災機能の強化に寄与し、また、内陸フロンティア推進区域の新観光拠点施設等へのアクセス強化により、地域活性化が期待される。					
平成28年度事業化	昭和一年度都市計画決定 (計画変更：平成一年度)	平成28年度用地着手	平成28年度工事着手		
全体事業費	7.6億円	事業進捗率	38%	供用済延長	— km
計画交通量	約2,500台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.2 (残事業) 8.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 2.2/8.4億円 事業費：1.7/7.9億円 維持管理費：0.6/0.6億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 18/18億円 走行時間短縮便益：17/17億円 走行費用減少便益：1.0/1.0億円 交通事故減少便益：0.0/0.0億円	基準年	平成28年
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.9~2.4 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=7.3~8.9 (交通量±10%) 事業費：B/C=2.0~2.4 (事業費±10%) 事業費：B/C=7.5~8.7 (事業費±10%) 事業期間：B/C=2.1~2.2 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=7.8~8.3 (事業期間±20%)					
事業の効果等					
<ol style="list-style-type: none"> ① 円滑なモビリティの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・小山町及び御殿場市における渋滞損失時間の短縮が見込まれる。 ② 観光交流の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・小山町内の主要観光施設へのアクセス性向上が見込まれる。 ③ 物流効率化の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな企業誘致が期待される。 ④ 災害への備え <ul style="list-style-type: none"> ・災害進出拠点とのアクセス性が向上し迅速な救援活動を支援する。 ⑤ 安全で安心できるくらしの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる。 					
関係する地方公共団体等の意見					
特になし					
事業評価監視委員会の意見					
・承認					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
・特になし					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
・用地取得率約90%、事業進捗率約38%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
・供用予定時期の平成31年3月に向けて、用地買収及び工事を推進する。					

施設の構造や工法の変更等

- ・新技術の採用や工法の見直しによるコスト削減に努め、事業を推進する。

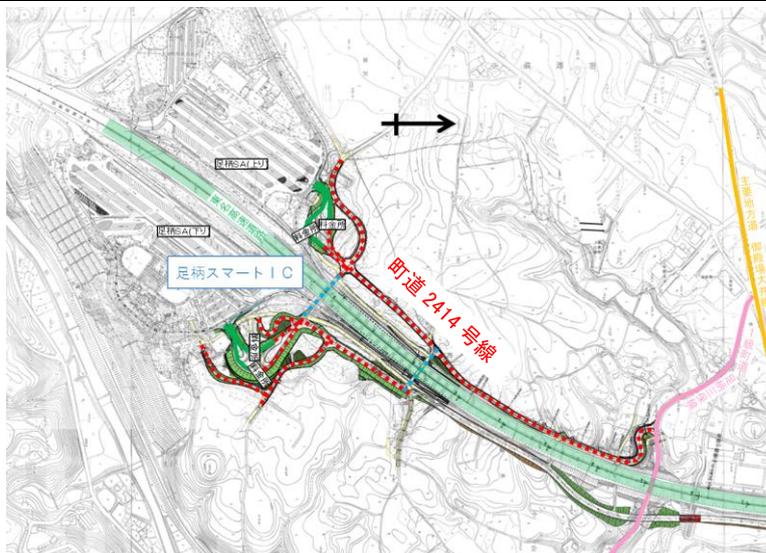
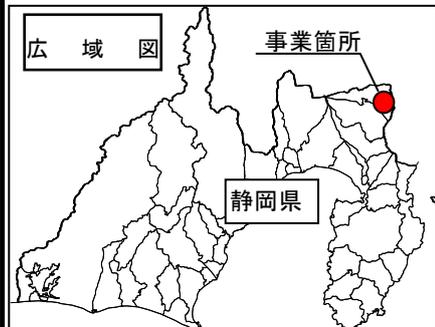
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。